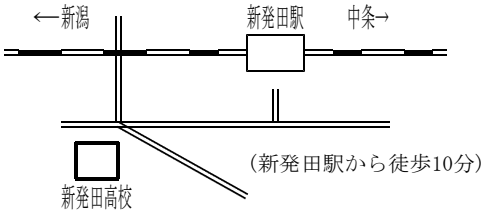
新潟県立新発田高等学校

●所在地　〒957-8555　新発田市豊町３－７－６
　［最寄りの交通機関］　ＪＲ白新線・羽越線新発田駅下車、徒歩１０分
●電話　０２５４－２２－２００８
●Fax　０２５４－２６－６３０７
●Eメール　school@shibata-h.nein.ed.jp
●校長名　灰野　正宏
●創立　明治２９年１０月２１日
●課程　全日制



【校舎（平成21年竣工）正面】

●生徒数８５４名　（令和４年５月１日現在）

学科名	１　年		２　年		３　年		計	
	男	女	男	女	男	女	男	女
普　通	１１４	１３１	１１４	１２８	１０６	１３７	３３４	３９６
理　数	２５	１７	２５	１６	２４	１７	７４	５０
計	１３９	１４８	１３１	１４４	１３０	１５４	４０８	４４６

●入学者選抜

学　科	募集定員	一　般　選　抜	
普　通	２４０	調査書：学力検査 （　３　：　７　）	
理　数	４０	調査書：学力検査 （　３　：　７　）	傾斜配点 （数学・理科）

※募集定員は令和４年度入学者選抜のものを掲載しています。
令和５年度募集学級数及び募集定員が確定後、ホームページを更新します（11月上旬予定）。

【一体型校舎とスクールモール】

●学校目標

本校は、社会と連携・協働し、ここに掲げる生き方を身につけた未来の俊傑を育てる。
（１）日々創意を新たにして生活の充実向上を図ろう。
（２）良識に従う行動によって公民としての責任を果たそう。
（３）我が最適の道を選び資質才能を十分に発揮しよう。

●目指す学校像のコンセプト

「質実剛健にして未来の俊傑をめざす」の校是のもと、生徒・保護者・地域・教職員が一丸となり、自ら学び課題解決に向かう「未来の俊傑」の基盤づくりを実践します！

●学校の特色

本校は、創立１２０余年を迎える歴史と伝統を誇る学校です。下越北地域の人材育成を担う進学校として地域の信頼を集め、卒業生は２万８千名にのぼります。同窓生は新潟県内だけでなく、広く国内外で活躍しています。入学してくる生徒は、将来地域社会や国際社会に貢献できることを目指し、大学進学の先に目を向けて勉学に励んでいます。

本校は、文武両道をモットーとし、全校一丸となって学力向上と部活動の振興に努めています。生徒の創意工夫と良識ある行動を重視しながら、個性に応じた進路目標の実現を目指します。

●スーパーサイエンスハイスクール（SSH）

本校は、平成25年度に文部科学省から５年間のSSH校指定を受け、平成30年度からも、それまでの５年間の取り組みの成果やこれからの計画が評価され、継続して５年間の指定を受けました。大学・研究機関などと密接に連携し、地域の特色を生かした課題研究等、様々な取り組みを理数科・普通科ともに積極的に行っています。

課題研究を柱とした探究型プログラムによって科学的思考力を育成し、課題解決に必要なデータリテラシーを習得します。さらに研究成果を社会に還元すべく表現力や発信力も身につけます。こうした新学習指導要領を先取りした教育プログラムの導入によって、**「科学技術を基盤とした、新領域を創造・開拓する未来のリーダーを育成」**します。

具体的には、特色ある授業をとおして理数系分野に必要な課題探究力を高めます。そして、科学技術をとおして世界とつながるコミュニケーション力・英語力を育成するため、理数科では１年次の終わりに「関東サイエンスツアー」、２年秋に「マレーシア海外研修」を実施します。

【マレーシア海外研修】

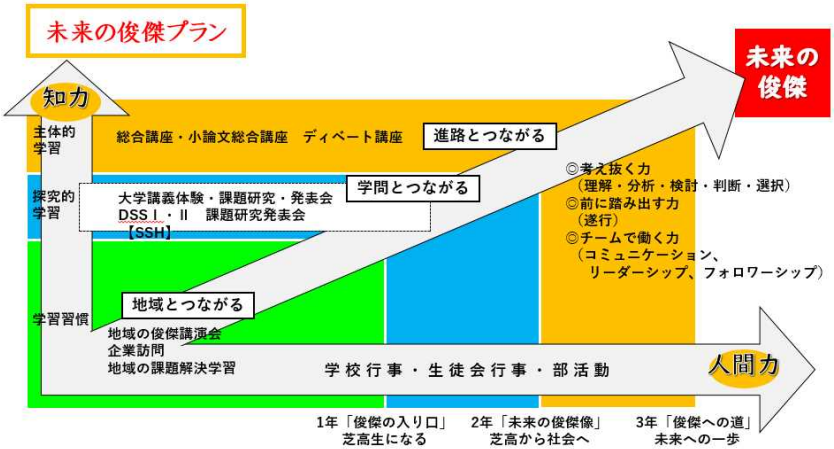
【つくば研修（JAXA）】

【新発田病院研修】

●キャリア教育「未来の俊傑プラン」

本校校歌に謳われる「未来の俊傑」を育むため、総合的な探究の時間の進路探究活動として「未来の俊傑プラン」を実施しています。一人ひとりの興味関心・希望進路に応じてグループで課題を設定し、調査・実験･観察などをとおして協力しながら研究を進め、最終的にまとめを発表し、互いに学び合う活動です。

課題探究型の学習をとおして、社会とのかかわりの中で自己の在り方や生き方をとらえなおして「我が最適な道」を選択し、社会に貢献できるよう成長することが目的です。



【芝高課題研究発表会
於：新発田市文化会館】

●学校生活（学科及び教育課程の特色）

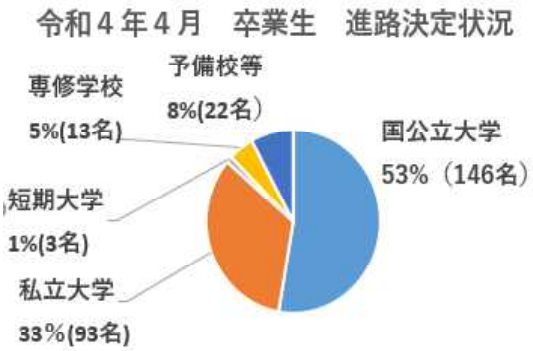
本校には普通科（各学年６クラス）と理数科（各学年１クラス）の２学科があります。それぞれ１クラスの定員は４０人です。理数科は、２年次からメディカルコースとフューチャーサイエンスコースに分かれて、探究的な学習を進めていきます。本校では授業を大切にし、基礎・基本の確実な定着を図り、生徒の進路目標が達成できる実力を養成するために、**授業を５５分**で行っています。

高校での学習は基本的には中学校の学習の延長線上にあります。しかし、どの教科も学習範囲が広くなり、学習内容も一層深くなります。また、２つの学科には次のような違いや特徴があります。

普通科は、１年生は全員同じ教科・科目を学習し、２年生から「文系」と「理系」に分かれて学習します。教科選択の幅も広く、自分の進路目標に応じて科目を選択して学習します。３年生になると「文系」と「理系」それぞれが進路目標に沿った科目選択を行い、さらに内容の深い学習をします。また総合探究「未来の俊傑プラン」や「Data Science & Study Ⅰ・Ⅱ」という授業で、自ら考え問題解決していく課題探究型の学習に取り組みます。

理数科は、数学と理科に重きをおく学科です。数学と理科（物理・化学・生物の３科目必修）の時間数を増やし、実習・観察・実験など、かなり高レベルのものにも取り組みます。将来、医学・歯学・薬学・理学・工学・農学といったいわゆる理数系の分野に進もうという生徒のために、特別のカリキュラムが編成されています。SSH校の指定により、さらに興味深い大学レベルの実験・実習や、課題研究ができるようになりました。SSH設定科目として、「Science Study Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」や「Science Literacy Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」の授業が用意されています。また令和元年度入学生から、医学・医療に貢献する人を育てるメディカルコースが設置されました。なお、入学者選抜では普通科を第２志望とすることができます。

●進路状況　（令和４年４月７日現在）



令和４年３月卒業生は、京都大学をはじめ、新潟大学医学部医学科、東北大学、北海道大学などの国公立大学に延べ１７８名が合格し、そのうち１４６名が進学しました。また、新潟大学へは４２名が進学しました。私立大学入試でも健闘し、大学・短大進学率は８６.２％と高い水準となりました。

卒業生総数　２７７人
共通テスト受験者数　２６７人
（国公立型受験率　92.5%）

○国公立大学の進学先（合格総数１７８→進学者１４６名）
京都大(1)、北海道大(1)、大阪大学(1)、岩手大、秋田大(5)、東北大学(5)、山形大学(13)、群馬大学(4)、埼玉大学(2)、宇都宮大(2)、千葉大学(2)、お茶の水女子大、電気通信大、横浜国立大、上越教育大(3)、新潟大(42）、富山大(2)
金沢大(4)、信州大(2)、秋田県立大(5)、山形県米沢栄養大(1)、東京都立大(3)、横浜市立大(2)、新潟県立大(19）、
新潟県立看護大(5)、都留文科大(2)、神戸市立外国語大　など

○私立大学の進学先（合格総数４９７→進学者９３名）
東北福祉大、獨協大(2)、青山学院大、亜細亜大、北里大(2)、慶応大、國學院大、芝浦工業大(2)、成蹊大、
専修大(5)、大東文化大、玉川大、津田塾大、東京農業大、東京理科大、東海大(4)東洋大(4)、法政大、明治大、
立教大(3)、早稲田大、日本大、新潟薬科大(7)、新潟青陵大(3)、新潟医療福祉大(16)、新潟国際情報大
新潟食料農業大、長岡崇徳大、金沢工業大(2)、京都産業大、立命館アジア大　など

●部活動の状況　※次のような部活動が文武両道を掲げて頑張っています。

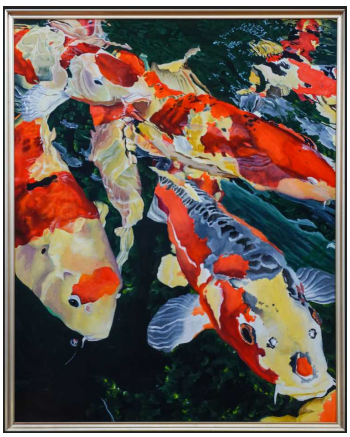
体育系（１６）	陸上競技、野球、バスケットボール、バレーボール、ソフトテニス、テニス、卓球、柔道、剣道、バドミントン、登山、ラグビー、サッカー、弓道、空手道、水泳
学芸系（９）	自然科学（生物班・化学班・物理数学班）、演劇、文芸、合唱、書道、美術、写真、ブラスバンド、ＥＳＳ

【ラグビー部】

【バレーボール部】

【剣道部】

【ブラスバンド部】



【美術部】

●令和３年度の主な実績

＜北信越大会＞

陸上競技部、ソフトテニス部、卓球部、柔道部、弓道部、空手道部、水泳部

＜全国大会＞

陸上競技部、卓球部

＜全国物理コンテスト　物理チャレンジ2021（７・８月／オンライン開催）　奨励賞＞

自然科学部（物理・数学班）

＜化学グランプリ2021　第２選考全国大会（７・10月／オンライン開催）　奨励賞＞

自然科学部（化学班）

＜第20回新潟県ボーカルアンサンブルコンテスト（高等学校の部）　金賞　関東大会出場＞

合唱部

＜全国高校総合文化祭＞

美術部（美術・工芸部門）

＜ＳＳＨ関連＞

◎　唯一解をもつ数独の初期条件

東京理科大学　第12回坊っちゃん科学賞研究論文コンテスト（高校部門）　奨励賞

◎　人工蜃気楼の発生

読売新聞　第65回日本学生科学賞新潟県大会　優秀賞

◎　カラメル化現象　～スクロース分子の崩壊～

東京理科大学　第12回坊っちゃん科学賞研究論文コンテスト（高校部門）　奨励賞

◎　水溶液の体積増加の規則性を探る

読売新聞　第65回日本学生科学賞新潟県大会　優秀賞

◎　筑波大学　朝永振一郎記念第16回「科学の芽」賞　学校奨励賞

第 11 回高校生バイオサミットin鶴岡
オンラインによる口頭発表

●主な学校行事

←【新入生オリエンテーション】（４月）
レクリエーションを通して仲間作りをします。。

←【遠足】（４月）
学年ごとに分かれて加治川べりまで歩き、バーベキューやカレーなど班ごとに昼食を作ります。

←【体育祭】（６月）
１年から３年まで全クラス対抗で得点を競い合います。大きなバナーやクラス旗・Ｔシャツの作成なども競いますが、毎年３年生が圧倒的な強さを見せます。
於：五十公野陸上競技場

←【応援練習】（４月）
芝高の伝統行事です。この厳しさを経験して真の芝高生になります。

【杉原祭】（９月）→
本校の文化祭は芝高が立地する昔の地名にちなみ「杉原祭」（すぎわらさい）と呼ばれます。文化系クラブの発表の場であり、また各クラスが企画・立案を競う場でもあります。

●在校生からのメッセージ

新発田高校では勉強と部活の両立に全力で取り組むことができます。高校の学習は内容が難しくなり、予習や復習が必要です。部活に入ると時間が足りない、と心配な人もいるかもしれません。でも大丈夫です。休み時間や何かの待ち時間などのすきま時間に勉強したり、授業に集中して取り組んだりすることで十分力が付きます。また、部活動を通して集中力や忍耐力が鍛えられ、学習面にも良い影響を与えてくれます。
さらに、何事にも一生懸命取り組む生徒が多く、互いに高め合いながら、毎日楽しい学校生活を送っています。
皆さんも、新発田高校で 充実した高校生活を送ってみませんか？　（生徒会）

●学校納付金　学校納付金については、次のものがあります。（令和４年度１年生実績額）

(1) 入学料　5,650円（入学時）
(2) 授業料（全日制）9,900円（月額）
※所得制限により就学支援金が支給されない世帯については、上記の授業料を納めていただきます。
なお、就学支援金支給の手続きについては、別途お知らせいたします。
(3) 学年費　75,000円（年額：副教材・模試・日本ｽﾎﾟｰﾂ振興ｾﾝﾀｰ会費他）
(4) 修学旅行積立金　90,000円（年額：1年次分）
(5) 生徒会費　10,000円（年額：うち入会金1,000円）
(6) 後援会費　9,000円（年額：入会金1,000円、会費6,000円、学力向上対策費1,000円、ﾛｯｶｰ維持費1,000円）
(7) 奨学会費　6,000円（3ｹ年分）
※この他に、入学時に制服（男子：標準型学生服、女子：約38,000円）、体操着（約18,350円）、指定シューズ（内履き5,000円、外履き4,180円）教科書（普通科約9,600円、理数科約11,500円）、などが必要になります。